

おけうり

令和4年9月5日(月)第12号(発行者:校長・大木 淳)

<教育目標>

- ☆進んで学ぶ子ども(知)
- ☆健康でたくましい子ども(体)
- ☆みんなで助け合う子ども(徳)



<校章の由来>

外形は学校を取り囲む山々を表し、その内側には健やかな成長と社会貢献を願い、杉の若芽が描かれています。

自分の命は自分で守る ~8/31 避難訓練~

9月1日は「防災の日」です。

大正12年(1923年)9月1日の午前11時58分に、南関東および隣接地で関東大震災が発生しました。この震災で、死者・行方不明者は推定10万人、190万人が被災しました。ちょうどお昼ごはんの準備で火を使っていたことから、多くの家から火災が発生し甚大な被害を及ぼしました。

今は、地震を感知すると自動的にガスの供給を遮断したり、家をオール電化にして火を使わないようにしたり、住宅に火災感知器を必ずつけるようにしたりと、様々な取組を進めています。しかしながら、火事の発生件数も火事が原因で命を落としてしまう方も、0(ゼロ)にならないのが現状です。

今回の避難訓練では、まず自分の命を守るために素早く「逃げる」訓練を行いました。中学校の嶋原校長先生からは、訓練後に以下の点について振り返るよう、お話がありました。

「ものが燃えると煙が出ます。皆さん、逃げる時にハンカチで口を覆っていましたが、これは有害な一酸化炭素ガスを取り込まないためです。このガスを吸ってしまうと体が動かなくなり、命を落としてしまいます。また、実際に火事の現場では、なんと床面5cmしか見えないそうです。だから、身を屈めて低い姿勢で避難しましょう、といわれています。こういうことを考えて、避難訓練をすることが大切です。」

この後、消火器や消火栓を使った放水訓練も行いました。



たくさんとれたよー ~9/1 収穫作業~



今年は、ちょうどいい感じに天気が続いたり雨が降ったりしましたので、学校園は作物も雑草も、これでもか、というほど伸びていました。夏休み明けに、じゃがいもを収穫する計画だと聞いて草刈りをしましたが、草の強さに辟易としました。その後、古沢先生や会田さんが収穫しやすいように、草抜きをしてくださいました。

今回は、じゃがいもの収穫を行いました。いもに傷をつけないように、丁寧に土を掘ってみると、次から次とゴロゴロとでてきました。児童の拳の大きさぐらいのものもあれば、一口大のかわいいものもありました。

学校に帰ってから、土の湿り気がついているので、ブルーシートに並べて乾かしました。

ついでに、短い大根も収穫しました。こちらは家に持ち帰りました。加工して、児童自らが考案した「切り干し大根のコンソメスープ」になるのでしょうか。楽しみです。



PHOTOGALLERY (フォトギャラリー)

避難訓練・消火体験 8月31日(水)



まずは、自分の命を守るために火災の現場からいち早く逃げます。
火が小さい時は消火器を使います。
大人がいるときは任せます。



学校園での収穫 9月1日(木)

